

8 用語解説

【アルファベット表記】

COD：湖沼や海域中の有機物質を推定するために用いられる水質指標です。水質が悪いほど COD は高くなります。

ISO14001：環境マネジメントシステムに関する規格で、第三者（審査登録機関）の認証を受けた事業者などは、環境に配慮した活動を行っていることを国際的に証明することができます。浜松市は、平成 11 年 12 月に認証を受けています。

PCB（ポリ塩化ビフェニル）：電気機器の絶縁油などに使われる油状の物質で、毒性が強いことから現在は製造・輸入が禁止されています。

【あ行】

アスベスト：石綿のことです。肺ガンの原因になることが判明し、使用が制限されています。

雨水浸透ます：道路の側溝や、家庭内の雨水ますの底に砕石などを詰め、雨水を地中に浸透させ、流末の水路や河川の負担を軽減し、浸水被害や地盤沈下の防止と地下水のかん養を図ります。

エコアクション 21：中小事業者などでも容易に取り組める環境マネジメントシステムのことで、簡易版 ISO とも言われています。外部の審査を受け認証を受けると、環境に配慮した活動を行っている事業者として登録されます。

エコファーマー制度：農業者が、たい肥などによる土づくり・有機肥料の使用（化学肥料の削減）・農薬使用の削減に関する環境にやさしい農業の「導入計画」を作成し認定を受ける制度のことです。

エコミュージアム：エコロジーとミュージアムとをつなぎ合わせた造語です。地域に受け継がれてきた自然や文化、生活様式を含めた環境資源を対象として、住民参加によって永続的な方法で研究・保存・展示・活用していくという考え方です。

温室効果ガス：地球温暖化の原因となる温室効果をもたらす二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）などの気体の総称です。

【か行】

合併処理浄化槽：し尿（トイレ汚水）と雑排水（台所や風呂、洗濯などからの排水）を併せて処理することができる浄化槽のことです。し尿だけを処理できる単独処理浄化槽に比べると、河川に与える影響をおよそ 1/8 に削減できます。

環境基準：大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地下水汚染、騒音及びダイオキシン類について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい環境保全上の目標（基準）のことです。

環境マネジメントシステム：事業者が自らの環境保全の取組の効果と成果を自主的に評価し、その結果に基づいて新しい目標に取り組んでいこうという自立的なシステムのことで、代表的な環境マネジメントシステムとしては、国際規格である ISO14001 や環境省が策定したエコアクション 21 が挙げられます。

貴重種：固有性、希少性、脆弱性や学術上の重要性からみて貴重と考えられる生物種を指します。本環境基本計画では、国・県・市の天然記念物やレッドデータブックに記載されている動植物のことを指します。

クリーンエネルギー自動車：電気自動車、エンジンとモーターといったように複数の原動機を組み合わせたハイブリッド自動車、水素と酸素を反応させて電気エネルギーを得る燃料電池自動車、天然ガスによる天然ガス自動車、天然ガスや石炭から製造される液体燃料を使用するメタノール自動車のことです。

公害：企業などが自然環境を汚すことによって、地域住民の健康や生活環境に影響を及ぼすことをいいます。大気汚染、水質汚染、土壌汚染、地盤沈下、騒音、悪臭、振動を典型七公害といますが、近年では光害や日照に係る被害を含めて公害とすることが多いです。

公害防止計画策定地域：現に公害が著しい、または著しくなる恐れがある等の地域について、公害防止計画の策定を指示された地域のことです。浜松地域は平成 15 年度に指定を受け「浜松地域公害防止計画」を策定しました。

交通需要マネジメント：自動車利用者の行動を変えることにより、道路渋滞をはじめとする交通問題を解決する方法です。

高度処理型合併処理浄化槽：窒素・リンなどが高度に処理できる浄化槽のことです。この浄化槽は、水道水源、湖沼や閉鎖性海域での富栄養化防止の目的で用いられています。

合流式下水道：下水道において、汚水と雨水を同じ管内に集めて排除する方式のことです。この方式は、降雨時に雨水が増加することで下水から公共用水域にあふれ水質悪化の原因となっているため、容量の増大や雨水貯留池の設置などによる改善を図る必要があります。

【さ行】

里山：集落、人里に接した山、あるいはそのような地形で、人間の影響を受けた生態系が存在している場所です。

市民の森：都市景観の形成に重要な役割を果たしていると認められる樹林地、水辺地などで、一定の基準に該当し指定された地域のことです。指定を受けると建築物の建築や木竹の伐採などの制限を受けます。

人口集中地区 (DID : Densely Inhabited District)：国勢調査に基づき、人口密度の高い (4,000 人 / km² 以上) 地域及び人口 5,000 人以上を数える地域の二つを満たしている市街地を指します。

森林認証：特定の基準や指標を基に、森林が持続可能な方法で育成・管理されているかを第三者が評価し認証する制度です。

森林療法：森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなどを指します。森林浴、森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動も含まれています。

水源かん養：森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を防止するとともに、川の水量を安定させる機能のことです。また、貯留された降水が森林の土壌を通過する際、水質が浄化される機能も含まれます。

絶滅危惧種：地域の急速な環境変化、移入生物、乱獲などが原因で、絶滅の危機にある生物種のことです。環境省では、そのような動植物をリストアップし「レッドリスト」を作成、それにもとづいて「レッドデータブック」を編集して、絶滅危惧種の保護を推進しています。

【た行】

ダイオキシン類：塩素を含む有毒な有機化合物のポリ塩化ジベンゾパラジオキシ(PCDD)などの総称で、発ガン性などの毒性があります。発生源は、ごみ焼却施設、農薬などです。

単独処理浄化槽：生活排水の処理において、し尿のみを処理する浄化槽のことです。

低公害車：窒素酸化物や粒子状物質等の大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れている自動車のことです。

道路・河川愛護制度：5人以上で構成された市民活動団体が、道路（市道）や河川の里親となって、ボランティアで定期的に清掃活動や景観保全活動を実施するものです。

特別緑地保全地区：都市緑地法に基づき、都市計画区域内で良好な自然環境を形成している緑地のうち、地域住民の生活環境として必要なもので、風致・景観が優れているものか、動植物の生息地で保全する必要があるもののいずれかに該当するものが対象となり、地区指定を受けると宅地の造成などの行為に制限がかかります。

都市景観形成地区：浜松市都市景観条例に基づき、住民、利害関係者と浜松市都市景観審議会の意見を聴いて、都市景観の形成を図る必要があると認められた地区です。指定を受けると建築物の建築や木竹の伐採などの制限を受けます。

【な行】

75%値：「75%水質値」の略語で、CODなどの年間測定結果の評価の際に用いられる年間統計値のことです。一年間で得られたすべての日平均値を、測定値の低い方から高い方に順に並べたとき、低い方から数えて75%目に該当する日平均値のことをいいます。

【は行】

パークアンドライド：自宅から最寄りの駅までは自家用車で行き、駅近くの駐車場に車を置き、鉄道等の公共交通機関を利用して通勤、通学する交通手段の組み合わせをいいます。

バイオマス：再生可能な生物由来の有機エネルギーや資源（化石燃料は除く）のことです。

非特定汚染源：排出を特定しにくい汚染発生源のことです。具体的には、屋根・道路などに堆積した汚濁物質、農地・山林などの落ち葉・肥料・農薬などの汚染発生源のことです。

浮遊粒子状物質：大気中の10 μ （ミクロン）以下の粒子状物質で、土壌粒子の舞い上がりや、石油系、石炭系燃料の燃焼などによるものがあります。呼吸器疾患の一因となります。

保存樹木・樹林：都市計画区域内において、一定の要件を満たす樹木や樹林のうち、自治体が都市の美観風致を維持するために、保存の必要があると認めて指定した樹木、樹林です。

【ら行】

リサイクルステーション：家庭から排出される資源物（新聞紙・雑誌・その他の紙類・ダンボール・古布類・ビン類）を地域に限らず誰でも持ち込めることができる資源物回収の拠点のことです。

緑地協定：都市緑地法に基づき、都市計画区域内の相当規模の一団の土地等の所有者の全員の合意により、緑地の保全や緑化に関する協定を締結する制度です。